

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

市区町村名32205大田市

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
32205大田市	①学校運営上の課題	02 社会に開かれた教育課程への対応	地域学校協働本部が5中学校区に設置されているが、学校と専任コーディネーターの連携、協働が停滞している本部がある。	・活動の活性化を図るため必要な学校を訪問し、大田未来結びコーディネーター、専任コーディネーター、派遣社会教育主事と学校管理職で協議した。 ・中学校区ごとにネットワーク会を開催し、取組やニーズ、困り感について共有し、連携を促した。	・活動の活性化を図るため必要な学校を訪問し、大田未来結びコーディネーター、専任コーディネーター、派遣社会教育主事と学校教職員で協議した。	各中学校区で、学校側と専任コーディネーターの情報・意識共有が図られ、専任コーディネーターの活動が活発になる。	各中学校区専任コーディネーターの年間平均活動時間	27	時間	30	21	昨年度の活動を継続している学校が多かったため、実績値が減ったが、来年度以降は充実した取り組みになるよう、コーディネーターの研修や連絡会、学校教職員へのPRの方法を見直していく必要がある。	https://www.city.oda.lg.jp/ohda-city/city_organization/20/62/443/9460

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。